

2015年3月28日(土) ビジネス支援イベント
株式会社イデオモータロボティクス講演会
「鳥の眼になり風の眼になり—無限の映像の可能性を作り出す—」

地域で活躍されている企業の講演会の第3回として、株式会社イデオモータロボティクスの井出大介社長をお招きしました。

株式会社イデオモータロボティクスは、2012年創業の府中市の若い企業です。業務空撮・測量用のマルチコプターシステムで、多摩信用金庫が主催する2014年の「第12回多摩ブルー賞技術製品部門 優秀賞」を受賞されました。

子どもの頃からラジコンが大好きで、空に憧れていたという代表取締役社長の井出さんに、仕事の創意工夫と面白さを語っていただきました。



「柔軟な発想と最新の技術」で、アーティストや映像制作者の素晴らしい感性を余すことなく表現できる機材・サービスを提供すること。そのことをご自身の目標・挑戦としている井出さん。

マルチコプターは、空中での揺れを電子的に補正するという最先端の技術を取り込んで完成した新しい飛行撮影機材です。ラジコンにカメラを付けて新しい画像を見てみたいという好奇心から始まったマルチコプターやハンドヘルドジンバル等の様々な撮影機材は、今まで撮れなかった広域のワンショット映像を可能にし、クリエイターの想像力を表現す

るツールになりました。建築や測量の分野では、ダムの老朽化の調査や遺跡調査の状態・更地の撮影などにも使用されており、広島土石流の撮影などの災害調査や野生動物調査にも利用の場を広げているとのこと。

講演では撮影機材の仕組みから可能性、そして安全性の向上や飛行上の法律の整備の必要性についても、独自の考えを熱く語っていただきました。仕事の情熱が伝わる井出さんのお話しの、講演会後も多くの方が詰めかけ質問されていました。「ベンチャー企業の息吹きが感じられた」「新しい専門的分野を分かり易く説明してもらい、実物も触らせてもらえた」「最先端の映像が見られ、TVでよく見る撮影のやり方がよく分かり満足した」等、好評をいただきました。今後も皆様に地域の元気な企業をご紹介していきたいと思えます。



お持ちいただいた機材の数々。手前が「マルチコプター」です。

右上は「ハンドヘルドジンバル」を持った井出さん。

ハンドルを回しても方位センサーでカメラが同じ方向を向くことができます。